

○ 本県では、北陸新幹線金沢開業を始め、ものづくり企業や高等教育機関の集積、充実した子育て環境などの本県の強みを最大限に生かしたうえで、地方創生の取組を進めてきた。

○ 北陸新幹線金沢開業効果が高いレベルで県内全域で持続し、多方面に発現するとともに、長年進めてきた陸・海・空の広域交流基盤の整備が相乗効果を発揮し、人とモノの交流を増大させ、地域を活性化。



○ 国が進めてきた政府関係機関の移転の中でも、国立工芸館の移転は、日本海側唯一の国立美術館の誕生であり、東京の機能を本格的に地方に移転させた成功事例。

また、企業の本社機能の移転についても、充実した交通インフラや支援制度などにより、先端技術を有する企業等の立地につながった。



○ 社会増減については、東京一極集中の加速により、全国的に人口流出が拡大する中、転出超過は拡大しているものの、総合戦略期間中の累計(H27-R1)では転出超過40県で3番目に少ない。

また、自然増減については、合計特殊出生率が、全国の数値が横ばいである一方で、本県は0.09ポイント上昇。

○ なお、具体の施策ごとに設定したKPI(重要業績評価指標)については、数値化できない項目を除いた142項目のうち、約8割(113項目)のKPIが既に達成済、または達成度80%以上となっている。

「陸・海・空」の交流基盤整備による相乗効果の発揮

長年にわたり、道路ネットワークを始め、港湾や空港など、陸・海・空にわたる広域交流基盤の整備を進めるとともに、これらを積極的に活用

新幹線開業効果が県内全域で持続し、多方面に発現

- 新幹線利用者数 開業前の約3倍を維持 (4年目:870万人(前年比1%増、開業前比2.8倍))
- 県外観光入込客数 開業前の340万人増 (H26:1,205万人→H30:1,549万人)
- 外国人宿泊客数 開業前の2.3倍 (H26:29万人→H30:68万人)
- 東北からの観光客増(開業前の1.8倍)
(大宮乗換で仙台・金沢約3時間半(開業前約5時間))
- 県外企業が支店・営業所を開設(約90社)
- 金沢市内のホテルの立地 開業前の1.7倍 (H26:44軒→73軒(見込含))



着実に進めてきた交流基盤が新幹線と相乗効果を発揮

- 金沢港へのクルーズ船寄港数の増加 (H26:16本→H30:47本→R1:50本)
- のと里山空港(開業16年目(昨年))の利用者数が2年連続で過去最高を更新
- 小松空港の国際線利用者数が3年連続で過去最高を更新

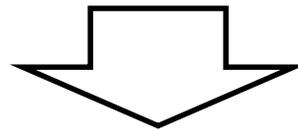
本県の交流基盤の整備は、人とモノの交流を増大させ、地域活性化に寄与

国立工芸館の移転

- 国立で唯一の工芸専門の美術館である国立工芸館が今年夏に開館し、日本海側で唯一の国立美術館が誕生



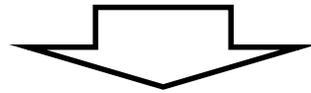
- 現工芸館が所蔵する美術工芸作品のうち、人間国宝及び日本芸術院会員の全ての作品を含む1,900点が本県に移転し、県立美術館の名品と合わせて、日本の工芸の全ぼうを一堂に鑑賞することが可能



- 本県の文化の土壌に厚みを増すだけでなく、石川の地の風格が高まる
- 本県が世界に向けた「日本の工芸」の発信拠点となる
⇒ 「地方創生の象徴」といえる画期的な成功事例

企業の本社機能(研究・開発部門など)の移転・拡充

- 陸・海・空の充実した交通インフラなど**立地環境の優位性**
- 本社機能に特化した立地助成制度や、県税の優遇措置などの**充実した支援制度**



企業の本社機能の移転・拡充: 計14件の実績(H27~)

先端技術を有する企業の研究開発拠点等が立地

- 世界で初めて印刷方式による有機ELディスプレイを生産する「JOLED」
- 新型発光ダイオードである深紫外線LEDを生産する「日機装」 など



JOLED



日機装(株)(日機装技研)

社会増減の状況

- 東京一極集中の加速により、全国的に東京圏への人口流出が拡大している中、転出超過は拡大しているものの、**総合戦略期間中の累計(H27～R1)で、転出超過40県のうち3番目に少ない状況**

→東京圏への転入超過数 ②610.9万人 ⑦11.9万人 ⑧11.8万人 ⑨12.0万人 ⑩13.6万人 ⑪14.6万人

→H27-R1累計値順位(転出超過県) ①沖縄▲1,955人 ②滋賀▲4,361人 ③石川▲5,879人 ④富山▲6,765人 ⑩福井▲10,484人

○ 年代別状況

年代	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H27-R1 累計
15-19歳 (学生)	671	742	325	473	564	562	2,666
20-29歳 (就職時)	▲1,606	▲1,760	▲1,782	▲2,113	▲2,284	▲2,500	▲10,439
30-49歳 0-14歳 (子育て世代)	185	562	396	774	130	▲645	1,217
50歳以上	165	169	250	238	▲7	28	678
計	▲586	▲287	▲811	▲628	▲1,597	▲2,556	▲5,879

<15～19歳(大学進学時)>

- ・本県の特徴である**高等教育機関の集積により、転入超過が継続**
- ・戦略期間中の累計(H27～R1)では、**転出超過40県で2番目と高い水準を維持**

→累計値順位(転出超過県) ①京都9,684人、②石川2,666人、③宮城985人、④福井▲2,081人、⑤富山▲2,143人

<20～29歳(就職時)>

- ・大手企業志向の高まりなどを背景に、**東京圏への転出が増加**

<30～40歳代、0～14歳(子育て世代)>

- ・**充実した子育て環境**を活かした移住施策の取組などにより、戦略期間中の累計(H27-R1)では**転入超過**

→累計値順位(転出超過県) ①沖縄5,483人 ②長野4,864人、③滋賀2,712人、④佐賀1,908人、⑤島根1,870人、⑥茨城1,538人 ⑦石川1,217人
⑧富山925人、⑨福井▲714人

自然増減の状況

○ 結婚、妊娠・出産、子育てのライフステージに応じた切れ目のない支援と各ステージにおけるワークライフバランスを推進

【結 婚】 いしかわ結婚支援センターを拠点に、県・市町・企業による三位一体の支援体制を構築、縁結びistによる成婚数も大きく増加

【子育て】 保育料無料化やプレミアム・パスポートの対象拡大等の第2子以降の経済的負担の軽減、在宅育児家庭への支援、一般事業主行動計画の策定対象の拡大など先駆的な取組を実施

○ これらの取組により、**本県の合計特殊出生率は平成26年の1.45から平成30年は1.54に増加(0.09ポイント増)**

※ 全国の合計特殊出生率はここ5年間横ばい

全国、石川県の合計特殊出生率の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	増減 (H26→30)
全国	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	±0
石川県	1.45	1.54	1.53	1.54	1.54	+0.09

数値目標の進捗状況

基本目標	数値目標	H26 基準値	H30(A)	R1目標値 (B)	進捗状況 (A/B×100)
1. 北陸新幹線金沢開業効果の 最大化と県内各地・各分野への 波及	県内観光 入り込み客数	2,161万人	2,492万人	2,750万人	91%
	外国人 宿泊客数	29万人	68万人	60万人	113%
2. 多様な人材を惹きつける魅力 ある雇用の場の創出	就業者数 及び全国比率	594千人 0.935%	614千人 0.921%	583千人 増加	105% —
3. 学生のUターン・県内就職と 移住定住の促進	本県人口の 転入出数	△586人	△2,556人 (R1)	0(R2)	転出超過 拡大
4. 結婚、妊娠・出産、子育てといっ たライフステージに応じた切れ 目のない支援	合計特殊 出生率	1.45	1.54	1.58	97%
5. 高齢化など時代の変化に対応 した地域づくり	介護職員数	16千人 (H24)	19千人 (H29)	20	95%

数値目標については概ね順調に推移しているが、本県人口の転入出数は、全国的な東京一極集中の加速により、転出超過が拡大

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

基本目標	達成 (100%)	未達成 (80%以上)	未達成 (80%未満)	計	数値化 不可	合計
1. 北陸新幹線金沢開業効果の最大化と県内各地・各分野への波及	15 (46.9%)	10 (31.3%)	7 (21.9%)	32 (100%)	2	34
2. 多様な人材を惹きつける魅力ある雇用の場の創出	22 (42.3%)	17 (32.7%)	13 (25.0%)	52 (100%)	2	54
3. 学生のUターン・県内就職と移住定住の促進	12 (63.2%)	5 (26.3%)	2 (10.5%)	19 (100%)	2	21
4. 結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援	6 (25.0%)	13 (54.2%)	5 (20.8%)	24 (100%)	4	28
5. 高齢化など時代の変化に対応した地域づくり	8 (53.3%)	5 (33.3%)	2 (13.3%)	15 (100%)	9	24
合計	63 (44.4%)	50 (35.2%)	29 (20.4%)	142 (100%)	19	161

計79.6%

重要業績評価指標(KPI)については、数値化できない項目を除いた142項目のうち

- ・63項目(44.4%)が既に達成済み
- ・50項目(35.2%)が達成度80%以上

⇒約8割(79.6%)のKPIが既に達成済み、または達成度80%以上